

第2回経営研修会 平成29年4月15日(土)

於：ホテルグリーンタワー幕張

INDEX

第2回経営研修会	1
親睦委員会・懇親会	2
臼井先生連載	2
会員企業訪問	3
例会委員会報告	4
親睦委員会報告	4
スケジュール/編集後記	4

仏教に大いなる学びあり！



4月15日、第2回経営研修会をホテルグリーンタワー幕張にて、千葉公慈先生を講師にお迎えして行いました。

2回目の講師選定は少々難航しました。研修委員会で検討しているときに、委員の方たちはそれぞれ資料、関連書籍等を持ち寄り、議論百出。決定打が出ないところで、林理智子さんが、ふと「ある会で座禅と住職の講話を聞く機会があり、とても貴重な体験だった」と話されました。

その場にいた委員の方々も、「そういえば月星で御前さん(住職や神主)の話は聞いたことがなかったね。面白そうだね」となり、一同納得の講師決定となりました。

その後、千葉住職と連絡を取り、講演内容を決める段階になり、住職をネットで検索すると、TV番組の「ぶっちゃけ寺」の出演者であることを知りました。さらに、大学教授でもあり、著書も多数あるとのこと。そのことを役員会で報告したところ、役員の数名の方がよく知っておられました。とても博識で、話も上手な御前さんであると。

講演内容は人生訓などが主体になるものと考えていましたが、自営業者の多い月星会での経営研修会の講演会であることを千葉先生にお伝えすると、お釈迦様にお弟子さんが経営の悩みを相談し、それに答えた記録があるのだそうです。知りませんでした。さすがお釈迦様ですね。

講演会当日は、事前に準備していただいたレジュメとパワーポイント(さながら大学の講義のよう!)を用い、「仏教から見た“和らぎ”の文化——仏教語から読み解く日本人——」の演題でとてもわかりやすくお話いただきました。日頃使っている言葉に仏教語由来のものが多いことに驚きましたが、お釈迦様のお弟子さんとのやりとりからその言葉の元になった意味を、まるで映像が浮かんでくるような臨



場感たっぷりの解説に皆引き込まれました。

得られた収入の、1/3は家族のために使い、1/3は投資に使い、1/3は世の中に寄付をするというブツダの教えが印象に残っています。近江商人の三方よしに通じるものを感じました。

「ぶっちゃけ寺」出演時のエピソードも面白く、予定の講演時間はあっという間に過ぎましたが、講演終了後の質問にもとても詳しく説明してくださいました。

会場を移しての懇親会でも、千葉先生は参加者から次々に話しかけられ、食事をする時間が十分あったのだろうかかと心配になるほどでした。

実は千葉先生は、講演会開始前のホテル到着後すぐに、ロビーのラウンジで、数名の月星会員と宗教にまつわる熱い議論を交わしていました。さらに、早速に住職をされている宝林寺に何う約束をして、講演1週間後に行かれたそうです。今までの(罪多き?)人生を振り返り、これからの人生をどのように送っていくか、人生を見つめ直す(?)機会になったことで、お役に立てたのなら、望外の喜びであります。

最後に、今回は数多くのビジターが講演会に参加していただきました。お声掛けいただいた方に心より感謝申し上げます。
 (経営研修委員長 星野浩之)

偕楽園は梅花の盛り

梅園やもとより風は冷たくて……いえいえ、暖かい日でした。香もほのかに漂っていました。

偕楽園は、ニューヨークのセントラルパークに次ぐ世界第2位の面積を持つ近世日本の教育遺産として水戸の文化財の一つでもあるそうです。

「弘道館」は日本最大の藩校、梅まつりの4日間だけ正門から入れる幸運に恵まれました。江戸時代、弘道館で学問を終え、偕楽園表門・好文亭表門から入って高揚した気持ちを抑えながら竹林を抜け、梅林で心と体を休めたようです。

好文亭の食事を上に運ぶ滑車付きのリフトに驚き、千波湖の足漕ぎボートに子供たちは大喜び。また地元小学生による好文亭の説明を聴き、梅親善大使のお嬢さんと嬉しそうにパチリ。

一行はその後、アクアワールド茨城県大洗水族館へ。迷子になりそうな大きさに驚き、子供たちは各所のスタンプを集めに走り回って楽しそうでした。よくぞここまでの復興に感動しました。

ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。ご協賛いただきました皆様にも御礼申し上げます。また行ってみたい旅でした。(親睦副委員長・竹口満代記)



連載

うすい日出男の
〈こくせいふかん〉の目

やっとやる気になった国会!

本年は憲法公布70周年に当たっている。しかも戦後初めて改憲勢力が衆参共に発議に必要な3分の2の議席を確保している。戦後、70余年かってなかった絶好の憲法改正の好機が訪れている。にもかかわらず国会における憲法審査会の動きは極めて鈍い。参議院では、通常国会終盤になってもまだ一度も憲法審査会が開かれなという有様だ。こうした状況に大石を投じたのが、さる5月3日に安倍総理が憲法改正促進グループに送ったビデオメッセージだった。我々憲法推進グループにとって安倍総理こそ憲法改正にとって一番の頼りになる首相だった。しかしその首相でも従来は、「憲法改正の論議はすべてからく国会の審議にまかせる」と待ちの姿勢を貫いてきた。そこに3日の発言だった。まさに痺れを切らした末の一投だった。首相は「2020年を新憲法施行の年にしたい。そして憲法第9条は、1項、2項はそのまま残し、第3項に自衛隊の存在を明記するいわゆる“加憲方式”をと

る」ことを明らかにした。これには従来の自民党案では、同じ改憲勢力といっても、いわゆる“加憲”を主張する公明党を説得できないとして、公明党にボールを投げた形である。

私は第9条の2項を残すことは反対の立場だが、現下の国会を見ると野党も安倍発言に引き出されて議論の場に乗りざるをえず、下村自民党幹事長代理の度重なる、来年の通常国会に自民党案を提示するという発言によって自民党内も極めて早い動きになってくるもようだ。

今回の憲法改正問題は、単に憲法改正に止まらず、軍隊である自衛隊を取って「憲法に違反せず」として誤魔化してきた自民党や、自衛隊の必要性は認めながら自衛隊を憲法に明記することを拒んできた野党のそれぞれ矛盾に満ちた状態から一刻も早く脱出しなければならない。そうした意味からこの度の安倍首相の発言を高く評価するものである。どうぞ会員各位の憲法改正に対するご理解と国民投票で過半数の賛成が得られるようにお力添えをお願いしたい。



元衆議院議員 臼井日出男

第24回 ちば国際税理士法人

想いはいつも「自利利他」

若手税理士の勉強会が顧客獲得の力に!

桐谷美千子さんにお話を伺う前に、ちば国際税理士法人のホームページを覗いて見ると、とても素敵な言葉が目飛び込んできた。

今回のタイトルに使わせていただいた「想いはいつも自利利他」である。事務所の奥にあるセミナールームにもこの言葉が飾られていた。

聞けば、この言葉はTKC全国会の創始者、故飯塚毅初代会長が提唱した同会の基本理念で、桐谷さんはこの言葉を大切に、自身の行動原理に置いていると言う。

他の人に利することをまず考える。それが自分の利益に還ってくるという意味であるが、これまで本欄にご登場いただいた会員の方々からも同様の信条を伺ってきた気がする。「自利利他」はあらゆる事業、すべての仕事の基本原理であり、成功への絶対的な法則といえるのかもしれない。

顧客ゼロ！ 暇で困った開業時

とはいうものの、桐谷さんが会計事務所を立ち上げた時は理念どころではなかったらしい。なにしろ、「利他」の対象となるべき顧客がほとんどゼロに近く、「事務所に居てもやることなく辛かった」という状態だったからだ。

「確定申告の仕事をさせてもらおうと、平成8年の2月に開業したのですが、友人を通して何人かの確定申告をただけで、それから数カ月間はゼロでした」

今では笑って話す桐谷さんであるが、当時は本当に辛くて毎晩、眠れない日々を過ごしていたようだ。

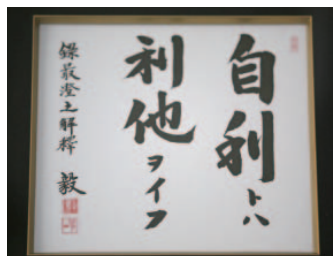
その後、先輩や地元の同業者から少しばかりの仕事を回してもらったものの忙しく働くイメージとはほど遠い状況が続いた。

「看板出せば仕事が来ると思っていたのですが、甘かったですね」

平成8年といえば、バブル崩壊後の不況の波が千葉に押し寄せてきた頃で、環境が悪かった面もある。しかし、だからといって事業を営む両親の申告時のアタフタぶりに小学生ながら呆れ、高校生ではっきりと目指していた税理士の仕事を諦める気持ちはまったく起きなかった。

顧客が徐々に増え、会計事務所らしくなってきたのは開業から2、3年経った頃であるが、そのきっかけになったのは、一つには中小企業家同友会の活動があり、もう一つは独立したばかりの若手税理士による勉強会だった。

特筆したいのは後者である。「静侯の会」という名で現在も続いているのだが（桐谷さんはすでに卒業し、OGとして



時々参加)、千葉市を中心に20～30人の若手税理士が毎月集まって勉強会を行っているようだ。

この勉強会への参加が桐谷さんの一番の転機になった。なぜ転機になったのかは、勉強する内容を聞いて納得。予想していたのは税制などの勉強であるが、全く違った。なんとみんなで顧客獲得についてリアルに報告し合い、真剣に議論をするのだとか。「まるで身内の営業会議のようです」と桐谷さんは表現している。

同じ税理士同士なのでライバル関係にあるはずだが、この会のメンバーにライバル意識はほとんどなく、むしろ「一緒にがんばろう」という連帯意識のほうが強いらしい。

桐谷さんは、この会からパワーをもらい、ようやく営業らしい営業ができるようになったと言う。

「一人で営業を始めた頃は何を話していいのかわからず、たとえば銀行の支店長さんに20分の時間をいただいても話が持てなかったくらいだったのですが、勉強会を機にすっかり変わりました」

目指すは「クロ100」

平成11年には、源川儀則税理士が同じ事務所内に同居してくれることになり、源川税理士からも営業面で学んだことが多かったようだ。

もともと会計の仕事自体には自信があり、評価も得ていたので営業力を身に付ければ顧客数は自ずと増えてくる。

平成16年には、源川税理士との共同代表で「ちば国際税理士法人」を設立し、現在は仕事なかった開業時が嘘のように忙しい事務所になっている。

ちなみに、私が中経出版在職中に月星会に入会したのは平成19年で、最初に参加した研修会が講師・桐谷さんによる「変動損益計算書の作り方」セミナーだった。グループ討議もあり、役立ち感満載のセミナーだったので、翌年に中経出版から『変動損益計算書の作り方・使い方』という著書を赤岩茂税理士（公認会計士）との共著で出版させていただいた。

このときの桐谷さんの講師ぶりは、まさに「利他」の精神だった。笑顔で実にわかりやすく解説してくれていたことを今でも覚えている。

桐谷さんが現在目標としているのは、「クロ100」。すなわち、事務所のすべての顧客を黒字にすることを目指しているのである。

目下のところ、達成率は63%でまだ道半ばであるが、未達の顧客には、セミナールームに足を運んでもらい、スタッフとのマンツーマン・セミナーによって経営計画を含む黒字化対策を共に考えるようにしている。（取材・文／奥平）

例会委員会報告

3月例会 平成29年3月23日(木)

於: 鮎割烹みどり

3月の夕食例会は、ジェフユナイテッド千葉の前田英之社長をお迎えしての卓話でした。JR東日本から2016年に着任し就任2年目、メディア等には非公開の資料を交えながら海外と日本のサッカーの質的な違いや、Jリーグ各チームの収入構造など興味深いお話が聞けました。



選手に予算をかけるだけでは勝てるチームは作れない、選手の能力を出し切るにはどうしたらよいのか、という観点から、闘う集団を目指して改革に取り組んでいるとのことでした。

Jリーグ発足当時からクラブ「オリジナル10」でありながら長年J2に甘んじているジェフ千葉ですが、今期はエスナイデル監督のもと超攻撃的サッカーが話題を呼んでいます。この監督選びにもこれまでとは違ったプロセスで臨まれたとの裏話もお聞かせいただきました。「前田カラー」のジェフ千葉の今年の躍進に期待です。

参加者は、講師を含めて23名でした。



4月例会 平成29年4月27日(木)

於: 鮎割烹みどり

4月の夕食例会は、JR東日本総務部長で千葉駅周辺整備プロジェクトを担当されている古賀和博様にお越しいただいての卓話でした。例会開催の4月27日にちょうどエキナカの4階がオープンし、大変お忙しい中ではありましたが、千葉駅の歴史や新しい千葉駅の設計思想について大いに語っていただきました。



駅機能を維持しながらホーム工事やビルの建て替えを進めていくために長期間にわたる工事となったとのことでした。昨年11月のリニューアル以降、千葉駅およびそごう周辺エリアの滞在人口も増加しているなど、駅の中だけでなく周辺地域の活性化にも寄与しているとの調査結果も出ており、今後の段階的な整備によりさらなる発展が期待できそうです。

参加者は、講師を含めて37名(ビジター7名)でした。

(3月、4月共、門山事務所・石原裕久)

親睦委員会報告

簀立て遊び 平成29年4月29日(祝日)

於: 金田海岸

親睦委員会での今回の企画は、金田海岸の簀立て遊びでした。

4月29日の朝、千葉駅に集合して一般道をひたすら木更津方面金田海岸へと向かいます。



現地に着くと胸まであるゴム長を履き、船に乗って簀立ての仕掛け場所へ移動します。船から降りて仕掛けへ行くと、鱈や鯛、フグなど魚が沢山入っていて、親子で追い掛け回したりと、とても楽しい時間を過ごしました。

海の上での食事やお酒が妙に美味しく感じられたのは、私だけではないと思います。その後、潮が引いたので潮干狩りを楽しみました。アサリやハマグリなどを取る子供たちを見ていると簀立てや潮干狩りもたまには良いものだと感じた次第です。

(尾形文貴記)



6月～8月のスケジュール

6 / 3 (土)	平成29年度定時総会 18:00開会 ホテルグリーンタワー幕張 3F チェルシー 参加費 会員無料
6 / 7 (水)	役員会 18:30開会 ホテル菜の花
7 / 5 (水)	役員会 18:30開会 ホテル菜の花
7 / 27 (木)	夕食例会 18:30開会 鮎割烹みどり 参加費 会員3,000円 ビジター 4,000円
8 / 2 (水)	役員会 18:30開会 ホテル菜の花
8 / 5 (土)	親睦委員会行事 千葉市花火大会見学 詳細未定
8 / 24 (木)	夕食例会 18:30開会 鮎割烹みどり 参加費 会員3,000円 ビジター 4,000円

※6月度夕食例会は休止いたします

今回の会員企業訪問では、私も土業の端くれとして、特に興味深くお話をうかがいました。顧客企業が利益を出し、成長し続けていただかないことには成り立たない仕事であり、「自利利他」の理念にはおおいに共感しました。

月星会の役員、各委員会活動もこれに通じると思います。2年間の広報委員会の活動を通じて、本当に良い経験をさせていただきました。お陰様で今年度最後の会報を発行でき、ほっとしております。ありがとうございました!(森本哲郎)